

会議結果報告書

令和5年3月24日

会議の名称	志木市文化財保護審議会
開催日時	令和5年3月23日(木) 午後3時～4時30分
開催場所	市民会館 302会議室
出席委員	井上國夫委員、深瀬克委員、上野守嘉委員、新田泰男委員 (計 4人)
欠席委員	金子博一委員 (計 1人)
説明員職氏名	生涯学習課 土崎課長、浅見主幹、徳留主査、石川主任 (計 4人)
議題	(1) 郷土資料館収蔵資料の調査報告について (2) 志木市立郷土資料館の来年度からの運営について
結果	(1) について、結果報告を受けて資料の扱いについて審議した。 (2) について、令和5年度の運営状況を注視する。 (傍聴者 0人)
事務局職員	生涯学習課 土崎課長、浅見主幹、徳留主査、石川主任

審議内容の記録（審議経過、結論等）

1 開 会

2 あいさつ

3 議事

（1）郷土資料館収蔵資料の調査報告について

〈説明員〉

資料により説明。

〈質疑応答等〉

委員) 資料について結果は、1つは江戸時代の資料である可能性が高いこと、1つは文字が確認できないこと、1つは加工痕があることの3点でよいか。

委員) 現時点で碑伝である可能性が低いからといって、資料を破棄する必要はない。保管して将来何かもう少し科学的な調査技術が向上したときに検証可能なように、今回の調査結果をきちんと整理して、保存だけしておくべきであろう。展示するには、明確な位置づけが必要だと思う。

事務局) まとめると、江戸時代以降の何らかの信仰的な性格をはらんだ加工があり、梢付き塔婆の可能性もあるが、確定的なことは言えないということである。今後、新たな分析方法や、発掘調査で似たような物が出てくる可能性もあることから、そういった新たな得られる知見を待つこととし、今後は郷土資料館収蔵庫に保管する。

会長) よろしいか。

委員) よい。

（2）志木市立郷土資料館の来年度からの運営について

〈説明員〉

資料により説明。

〈質疑応答等〉

委員) これまでの資料の管理ノウハウをどのように継承していくのかが不明瞭である。どうやって引き継ぎもするのか。

事務局) それに関しては生涯学習課で管理していく。常駐する方々については資料に直接触れるような業務は想定していない。特別展の際も、基本的には生涯学習課職員が行うこととする予定である。

事務局) 基本的な文化財・歴史については生涯学習課から研修会のような形でお伝えする。もし深い内容の質問を受け、すぐに回答が必要な場合は生涯学習課にご連絡いただく必要がある。そういったやりとりを繰り返していく中で、常駐

する方が少しずつ専門性を高めていっていただける形が理想的である。
会長) 令和5年度の運営状況を注視していく。

4 報告事項

5 閉 会